

第3次横芝光町総合計画 基本構想（案）

令和7年8月

目 次

第1章 まちづくりの理念.....	3
第2章 まちの将来像.....	4
1. 目指すまちの姿.....	4
2. 人口の将来展望.....	5
第3章 土地利用の基本方針.....	6
第4章 まちづくりの基本目標（分野別の目標）.....	7
第5章 構想実現のために.....	10

第1章 まちづくりの理念

「まちづくりの理念」とは、行政のみならず、町民をはじめ横芝光町のまちづくりに関わる全ての人々が共有すべき基本的な姿勢をいいます。

これまで本町では、第2次横芝光町総合計画のもと、『協働と創造による 地域力発揮のまちづくり』を理念として、まちづくりを進めてきました。わが国の他の地方と同様に本町でも人口減少と少子高齢化が進行しており、これらへの対応が大きな課題となっています。

これらの課題に取り組みつつ本町の将来を切り拓くためには、成田国際空港の更なる機能強化をはじめ、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）や銚子連絡道路の整備を追い風としながら、多方面で急速に普及の進むデジタル技術を効果的に取り込み、地域の活性化を図っていく必要があります。

同時に、本町のもつ豊かな自然、歴史、文化、農産品などの地域資源や、人のつながりを守り育てていくことも重要です。

これからの本町のまちづくりには、行政や町民をはじめ本町に関わる全ての人々、事業者や大学等研究機関も含めた『だれも』が横芝光町の未来を想い、アイデアを出し合い、共に行動して創り上げていくことが大切です。

このようなことから、「まちづくりの理念」を次のとおりとします。

「だれもが参画する ともにつくるまちづくり」

第2章 まちの将来像

1. 目指すまちの姿

本町は、穏やかな気候と緑の里山、栗山川、九十九里浜といった豊かな自然に恵まれ、先人から受け継いだ歴史文化や食文化、地域コミュニティの温かさも残る、暮らしやすいまちとして発展してきました。

現在の本町では、成田国際空港の更なる機能強化を契機とした地域振興や圏央道等の整備による広域アクセスの向上等に伴う産業振興、住宅の立地等が期待されており、新たな展望に向けまちづくりが着実に進められています。

しかしながら、近年では人口減少が続き、高齢化も進行しつつあります。年間出生数が100人を割り込むなど少子化も著しくなっており、まちの未来を展望する際の大きな課題となっています。

まちの将来を展望するためには、人々が安心していつまでも住み続けたいと思えるような地域づくりを推進し、担い手となる若者や子育て世代の移住・定住を促して、一定規模の人口を維持することが引き続き不可欠です。

これからの本町には、一人ひとりの自分らしさと他者を尊重する心を育みつつ、様々な人々が集いつながり、みんなで実行していくまちづくりが重要です。

また、自然との調和のもと、町民一人ひとりが幸せを実感でき、災害にも強い安心で安全なまちづくりが期待されています。

さらには、農業や商工業の振興、様々な交流が生まれる環境づくり、それらにより人が行き交い賑わいが生まれるまちづくりも望まれます。

このようなことから、「目指すまちの姿」を次のとおりとします。

人と自然と賑わいがつなぐ『幸せ実感』のまち 横芝光

2. 人口の将来展望

本町では人口減少が続いていますが、将来像『人と自然と賑わいがつなぐ『幸せ実感』のまち 横芝光』の実現に向け、こども・子育て支援や学校教育、基盤整備や産業振興、移住・定住の促進や成田国際空港との共生・共栄などにより人口減少を可能な限り抑制します。また、デジタル技術の活用などにより、人口規模に応じた持続可能なまちづくりを目指していきます。

このような考えのもと、基本構想の目標年次である令和 15 年度（2033 年度）の人口を次のとおり展望します。

令和 15 年度（2033 年度）の人口

約 20,000 人

第3章 土地利用の基本方針

本町では、成田国際空港の更なる機能強化に関連した整備や圏央道、銚子連絡道路といった広域的道路網の整備等が進んでいます。

これらの整備等は、今後の本町の土地利用にも大きな影響を及ぼすものと思われますが、本町には栗山川や九十九里浜に代表される自然や豊かに広がる農地などがあり、都市的な開発と自然や農地の保全との調和を図っていく必要があります。

このため、今後の土地利用に係る方向性を次のとおりとします。

(1) 市街地・居住地

集約型都市構造の構築を図り、誰もが安全に安心して快適に暮らし続けられる利便性の高い市街地や居住地の形成を目指します。また、騒音区域下における対策、自然災害対策等により、良好な住環境の維持・向上を目指します。

(2) 交通網

銚子連絡道や圏央道の整備効果を最大限活かし、JR 総武本線や国道 126 号を含めて、交通結節点（駅、インターチェンジなど）へのアクセス道路の整備促進や機能充実などによる広域交通網の形成を目指します。また、本町と空港を繋ぐ、南北軸の強化を図ります。さらに、町内交通では、幹線道路の整備を進めるとともに、道路網及び公共交通の維持を図ります。

(3) 産業振興

成田国際空港の更なる機能強化を追い風とした企業誘致や、地域資源の有効活用と創出を基調とした産業振興を目指します。用地の確保を含めた企業誘致を進めるとともに、遊休公共用地の積極的な活用による新たな拠点の形成や、地域資源のネットワーク化等による観光振興、農業基盤の整備、農地の大規模化、集約化による農業振興などを図ります。

(4) 自然環境等

栗山川や九十九里浜といった、本町にとって大切な自然資源の保全と活用、防災面での安全性の向上に努めるとともに、住民生活にとって身近な緑の保全に努めます。また、土地の荒廃を防止する観点から、遊休農地等の発生抑制に努めます。

第4章 まちづくりの基本目標（分野別の目標）

「まちづくりの基本目標」とは、基本計画で定める施策の各分野における目標です。
また、この基本目標には「目標達成に向けた取組方針」を付し、施策の方向性を定めています。

1. 郷土愛を育み、相互理解のもと、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる

まち

《基本目標》

こどもや高齢者、障害者などを支援するとともに、地域でお互いに助け合いながら、誰もがその人らしく、健やかに生き生きと暮らせるまちをつくります。

また、児童・生徒が健やかに学び育つ教育環境を整備するとともに、一人ひとりがいつまでも学び、スポーツを楽しめる環境を整えて、郷土を誇りに思えるまちをつくりま

す。
さらには、性別や出身国などに関わらず、誰もが横芝光町の仲間として共に力を合わせる環境をつくとともに、自治会をはじめ地域活動に活力がある住民主体のまちをつ

《目標達成に向けた取組方針》

こどもや子育て家庭、高齢者、障害者などを地域ぐるみで支える環境づくりに努めるとともに、こどもや高齢者、障害者がその人らしく社会に参画できる機会づくりなどを進めます。また、健康に対する意識の高揚を促しながら、東陽病院を含めた地域医療体制の確保や社会保障制度の適正な運営に努めます。

横芝光町ならではの特色ある学習を展開するとともに、学びの拠点である学校の環境整備に努め、地域との連携により児童・生徒を育成します。また、一人ひとりの意欲に応じた生涯学習環境や、文化活動・スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくりを進めます。

一人ひとりの人権を尊重し、多様な人が参画する社会の実現を目指すとともに、外国人も暮らしやすい地域づくりを進めます。また、自治会をはじめとする地域コミュニティやボランティアなどのテーマコミュニティ（特定のテーマに基づき活動する集団）の活動支援に努めるとともに、地域における活動の担い手の育成や、新たな活動の創出を促します。

2. 豊かな自然と共生し、安全で安心して暮らせる住みやすいまち

《基本目標》

暮らしを支える都市基盤を整備するとともに、豊かな自然と調和した快適に暮らせる環境を整備し、人と自然が共生する住みやすいまちをつくります。

また、地震災害や風水害、火災、病気や不慮の事故などから住民を守るとともに、犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちをつくります。

《目標達成に向けた取組方針》

都市・交通基盤の整備に努め、まちの活力と住民の利便性を向上させるとともに、安全で快適な居住環境づくりを進めます。また、生活排水の適切な処理、ごみの減量化、自然環境の保全などに努めながら、地域を美しく保つとともに、河川や海岸、公園・緑地を適切に維持管理します。

一人ひとりの災害に対する意識を高めながら、地域の防災力の向上を図ります。また、広域的な連携のもと、消防・救急体制の強化に努めるとともに、警察をはじめとする関係機関との連携により、子どもや高齢者をはじめ、すべての町民を犯罪や交通事故などから守る環境を整備します。

さらに、航空機騒音対策の推進を図りつつ、成田国際空港への交通アクセス性などに優れた、空港と共生・共栄するまちづくりを進めます。

3. 地域の特性を活かし、産業活力と賑わいがあるまち

《基本目標》

基幹産業である農業や、商工業、観光などの振興を図るとともに、企業立地の促進や起業・創業などを促し、経済を活性化して活力あるまちをつくります。

また、生活の利便性の拡充を図り、魅力的な移住・定住の環境づくりや、成田国際空港と共栄するまちづくりを進めます。

《目標達成に向けた取組方針》

農業の担い手の育成・支援や生産基盤の整備・活用などに努めながら、農産品の PR や収益の向上による活性化を図ります。

また、情報交流拠点機能を果たす施設を有効に活用しながら、観光・交流の活性化に努めるとともに、広域交通の利便性を活かした産業立地や、起業・創業を促す環境づくりを推進します。

さらには、女性や若者をはじめ、町外からの移住者などにとっても魅力的な環境づくりに努め、移住・定住を促します。

第5章 構想実現のために

「構想実現のために」とは、この基本構想で定めた「まちの将来像」などの実現に向け、住民参加や行財政運営、人口減少対策、成田国際空港との共生・共栄など、分野横断的に取り組むテーマの方向性を定めるものです。

《基本目標》

住民の参加を得ながら、総合計画を基幹とした行政運営の確立や効率的かつ堅実な財政運営などを実現します。

《目標達成に向けた取組方針》

地域課題の解決に向け、行政運営の様々な場面において住民の積極的な参画を得るよう努めます。また、行政評価の実施やDX、民間活力の活用などを通じ効率的で効果的な施策・事業の展開に努めるとともに、健全な財政運営を推進します。